

「感染性胃腸炎患者におけるアストロウイルスの遡り調査による流行状況の解明」 について

○ 研究の意義・目的

ヒトアストロウイルスは小児の感染性胃腸炎の重要な原因ウイルスのひとつです。ロタウイルスワクチンの定期接種がおこなわれるようになり、ロタウイルスが減少し、ヒトアストロウイルスはノロウイルス、サポウイルスに次いで、小児の下痢の原因となる病原体として重要性が増しています。現在、当センターの感染性胃腸炎の検査では、ノロウイルス、サポウイルス、アストロウイルスなどの10種類の下痢症ウイルスを包括的に検査していますが、近年新規アストロウイルス株が存在することが報告されています。この新規アストロウイルス株は、これまで当センターで行っていた検査法では検出されなかったことから、これらウイルスの県内の流行状況については明らかになっていません。

そこで、本研究では過去7年間分を遡って県内での古典的および新規アストロウイルス株の流行状況を明らかにするとともに、年次ごとの流行遺伝子型や注視すべき遺伝子型を特定し、県内のウイルス性胃腸炎の対策に役立てます。

○ 研究対象者

感染症発生動向調査事業及び集団感染事案検査において2017年1月1日～2023年3月31日までに感染性胃腸炎の症例で便検体を採取された患者。

○ 利用する試料・情報

感染性胃腸炎の症例で採取された患者便検体を使用し、検査用に作成した検体番号と患者の症状、発症日、年齢のみを使用します。(別紙参照)

○ 研究方法

古典的アストロウイルス株及び新規アストロウイルス株の両方を検出可能なプライマーを用い、感染症発生動向調査事業及び集団感染事案検査で収集した検体について、過去7年間の県内におけるアストロウイルスの流行状況及び遺伝子型等を解析します。利用する情報(症状、発症日又は検体採取日、年齢)から過去7年間における流行状況(流行遺伝子型と流行時期、流行年齢層)を明らかにします。

○ 試料・情報の代表管理責任者

保健研究部 主任研究員 谷澤由枝

○ 研究期間 2024年9月27日～2025年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。研究で使用する個人情報は患者の症状と発症日、年齢、当方で作成した検体番号のみで処理し、個人が特定されるデータは扱わないため、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんので、ご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまで、電話、電子メール等によりお問い合わせください。

* 研究に試料・情報を提供しない場合は下記問い合わせ先へお申し出ください。試料・情報を提供しないことにより、今後の不利益が生ずることはありません。(別紙参照)

.....
(責任者)

〒734-0007 広島市南区皆実町一丁目 6-29

TEL 082-255-7131 FAX 082-252-8642

E-mail hkcsoumu@pref.hiroshima.lg.jp

広島県立総合技術研究所保健環境センター センター長 山根早百合

別紙

- 1 試料・情報を利用する者の氏名又は名称
研究機関 広島県立総合技術研究所保健環境センター

所 属	職 名	氏 名
保健研究部	主任研究員	谷澤 由枝

- 2 利用する情報の項目

項目	具体的な内容
検体番号	下痢症患者用に作成した検体番号
年齢	年齢
発症日	発症年月日または検体採取日
症状	下痢、嘔吐、発熱の有無など

- 3 研究への利用を拒否する場合の手続き
「研究に試料・情報を提供しない場合の問い合わせ先」へ連絡してください。